

## 令和二年度 長野県中野西高等学校卒業証書授与式 式辞

北信濃、中野の地の木々の蕾や山々の装い、窓辺にこぼれる陽の光に、春の兆しを感じる季節となりました。コロナ禍で例年通りではございませんが、日頃から本校に対しましてご理解とご協力を頂いております保護者の皆様のご列席を賜り、本日ここに令和二年度長野県中野西高等学校卒業証書授与式を挙行できますこと、まことに喜ばしく、衷心より御礼を申し上げます。

ただいま、全日制普通科 189 名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。この早春のよき日に卒業証書を手にした卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。いつも以上に凛々しい皆さんの姿を見ることが叶い、とても嬉しく思います。

またお子様と苦楽を共にし、支えてくださった保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様がこのように心身ともに大きく成長され、本日卒業という晴れの日を迎えられましたこと、感慨一入のことと拝察いたします。

さて、皆さんが本校に入学した平成 30 年(2018 年)はどんな年であったか覚えていませんか。スポーツでは2月に平昌(ピョンチャン)オリンピック、6月にFIFA ワールドカップロシア大会がありました。平昌オリンピックカーリング女子日本代表 ロコ・ソラーレの「そだねー」が新語・流行語大賞の年間大賞を受賞しました。

夏は記録的な猛暑となり、7月23日に埼玉県熊谷市で日本歴代最高気温の41.1℃を記録し、気象庁の緊急会見では「命の危険があるような暑さ」とコメントがあり、「災害級の暑さ」と各メディアは報道しました。このことから翌年より県立高校でも普通教室にエアコン設置が進められました。また、私が本校に着任したのも皆さんが入学したこの年でした。

あれから三年の年月が過ぎ、皆さんはそれぞれ自分の目標に向かって一步一步近づいて、新しい世界に旅立とうとしています。

現代は「VUCA(ブーカ)」の時代と呼ばれています。「VUCA」とは、V:Volatility(変動性)、U:Uncertainty(不確実性)、C:Complexity(複雑性)、A:Ambiguity(曖昧性)の4つの頭文字をとった造語で、あらゆるものを取り巻く環境が目まぐるしく変化し、将来の予測が困難な状態を意味しています。特に今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、まさに環境が激変し、いまだに終息の兆しも見えず、皆さんの最終学年の高校生活にも多大な影響があったことを思い出されることでしょう。そんな時代にこれから皆さんは自分の足で歩き、自分の翼で羽ばたかなければならないのです。

今年、三年生の特編授業の中で二つの講座を担当する機会があり、授業の最後に、卒業後どのように過ごしていきたいか、今後の抱負を書いてもらいました。そこには、新しい世界に向けてだれもがしっかりと決意が述べられており、感心いたしました。一部を紹介すると、

- 「できない」ではなく「やらないといけない」と思える人になり、夢をかなえられるように頑張りたいです。
  - 今の努力では全く足りないと思うので、自分を律し管理して人の何倍も努力します。
  - チャレンジしてみて、失敗してもトライアンドエラーで成功まで自分の力でつなげてみたい。
  - 一人暮らしが始まるので、一刻も早く自立してここまで育ててくれた親に恩返しができるように頑張りたい。
  - 未来を担う子どもたちの学びをサポートできるような栄養士になりたい。等々。
- 一人一人が自分の選んだ進路に対する強い決意や自分だけでなく誰かのためという思いやりや感謝の

気持ちが述べられ、頼もしくうれしく感じました。

また、1月からの自宅研修中に古い校舎をきれいにする取り組みに賛同した3年生の有志らが教室や廊下の壁のペンキ塗りなどを主体的に行ってくれました。この有志の皆さんの行動に感謝すると共に賞賛したいと思います。

少子高齢化、グローバル化がすすみ、AI(人工知能)やロボット技術に代表される技術革新はめざましく、社会はどんどん変わりつつあります。

これから皆さんは乗り越えなければならない様々な課題にぶつかるはずです。解決の糸口が見つからず、思い悩むこともあるでしょう。しかし、そのときにどうするか、どう行動できるかが問われています。中野西高校で学んだこと、仲間と過ごした三年間の経験が新しい環境で未知の世界に立ち向かう勇気を与えてくれるはずです。もし、迷ったら、困ったら、校歌「イヌワシの歌」を口ずさんでください。

「♪夢は遙か 誇りは高く」自分の夢に向かいあきらめず、へこたれず前を向いて行動し続けることが「夢の実現」につながるのです。作詞者の丸山健二先生が言われたとおり、「イヌワシの歌」は「人生の応援歌」なのですから。

結びにこの学び舎を巣立ちゆく皆さんの洋々たる前途に幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和3年3月3日

長野県中野西高等学校長 宮原 弘匡